

原規規発第 2111175 号
令和 3 年 1 1 月 1 7 日

リサイクル燃料貯蔵株式会社
代表取締役社長 高橋 泰成 殿

原子力規制委員会

令和 3 年度第 2 四半期の間実施した原子力規制検査（原子力施設安全及び放射線安全に係る基本検査）の結果の通知について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和 3 2 年法律第 1 6 6 号）第 6 1 条の 2 の 2 第 1 項の規定に基づく令和 3 年度第 2 四半期の間実施した原子力規制検査（原子力施設安全及び放射線安全に係る基本検査）の結果について、同条第 9 項の規定に基づき、別添のとおり通知します。

リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センター

(使用済燃料貯蔵施設)

令和3年度(第2四半期)

原子力規制検査報告書

(原子力施設安全及び放射線安全に関するもの)

令和3年 11 月

原子力規制委員会

目次

1. 実施概要	1
2. 運転等の状況	1
3. 検査結果	1
4. 検査内容	1
5. 確認資料	2

1. 実施概要

- (1) 事業者名: リサイクル燃料貯蔵株式会社
- (2) 事業所名: リサイクル燃料備蓄センター
- (3) 検査実施期間: 令和3年7月1日～令和3年9月30日
- (4) 検査実施者: 東通原子力規制事務所

山本 晋児

森 一義

鈴木 雄二

検査補助者: 東通原子力規制事務所

里信 修一

2. 運転等の状況

施設名	検査期間中の運転、操業、停止、廃止措置及び建設の状況等
リサイクル燃料備蓄センター	建設中

3. 検査結果

検査は、検査対象に対して適切な検査運用ガイド(以下単に「ガイド」という。)を使用して実施した。検査対象については、原子力検査官が事前に入手した現状の施設の運用や保安に関する事項、保安活動の状況、リスク情報等を踏まえて選定し、検査を行った。検査においては、事業者の実際の保安活動、社内基準、記録類の確認、関係者への聞き取り等により活動状況を確認した。ガイドは、原子力規制委員会ホームページに掲載されている。

第2四半期の結果は、以下のとおりである。

3. 1 検査指摘事項

指摘事項なし

3. 2 未決事項

なし

3. 3 検査継続案件

なし

4. 検査内容

4. 1 日常検査

- (1) BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 日常観察

検査対象

1)CAP活動の実効性

4.2 チーム検査

なし

5. 確認資料

5.1 日常検査

(1)BQ0010 品質マネジメントシステムの運用

検査項目 日常観察

検査対象

1)CAP活動の実効性

資料名

- ・ Q-2-G3-1「使用済燃料取扱主任者の選任及び職務」(改訂00)
- ・ Q-2-M1-11「通信連絡設備保守管理」(改訂00)
- ・ Q-3-M1-11-1「通信連絡設備保守管理要領」(改訂00)
- ・ Q-2-M1-13「巡視点検」(改訂00)
- ・ Q-3-M1-13-1「巡視点検手順書」(改訂00)
- ・ Q-2-N1「不適合等管理マニュアル」(改訂14)
- ・ 不適合(19-12)
- ・ 不適合(20-NC-02)
- ・ 不適合(20-NC-24)
- ・ 不適合(21-NC-01)
- ・ 不適合(21-NC-02)
- ・ コンディションレポート(21-CR-01)
- ・ コンディションレポート(21-CR-03)
- ・ コンディションレポート(21-CR-09)
- ・ コンディションレポート(21-CR-10)
- ・ 金属キャスク受入貯蔵訓練(2021年度)工程表(上期)

5.2 チーム検査

なし